

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ (呼吸・循環機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30時間
担当教員	渡辺 浩毅 伊東 亮治	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (医師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

呼吸・循環機能障害によっておこる症状と主な疾患・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 呼吸器疾患を理解する。
2. 呼吸疾患が生活の及ぼす影響について説明できる。
3. 代表的な呼吸疾患の病態・治療・看護について説明できる。
4. 心臓血管系の正常な構造と機能を理解し、循環機能障害と回復への過程を理解できるようになる。
5. 心臓血管系機能障害を系統立てて理解し、疾病に対する観察力や判断力を養い、適切な看護計画を立案・実施・評価できるようになる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	呼吸器系の構造と機能 症状と病態生理 診断と検査	講義
2	呼吸器感染症	講義
3	呼吸器感染症とアレルギー性疾患	講義
4	閉塞性障害と拘束性障害	講義
5	肺循環障害 換気障害	講義
6	換気異常 肺癌	講義
7	胸腔疾患 呼吸リハビリテーション 禁煙指導	講義
8	心臓の構造と機能および循環器疾患の症状と病態生理	講義
9	循環器疾患の診断および治療	講義
10	虚血性心疾患について	講義
11	心不全および血圧異常について	講義
12	不整脈について	講義
13	弁膜症・心膜炎・心筋疾患・肺性心について	講義
14	先天性心疾患・血管疾患・リンパ系疾患について	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

授業・学習への取り組みと筆記試験で総合的に評価する。

【6】教科書

川村 雅文: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 2 呼吸器 (第 16 版) 医学書院 2026 (電子版)
 吉田 俊子: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 3 循環器 (第 16 版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ。

講義の内容により、担当講師が変わります。

呼吸器・循環器系の病態生理と疾患を教科書に沿って説明します。必要に応じてプリントを使い、臨床での事例を加えて、呼吸器・循環器疾患を理解し、興味が持てるような講義としたいと考えております。